

# 熱い心で歴史をいろどる 郷土が生んだ偉人たち

Great Names from the Past: Portraying History with Zeal

## 故 平井太郎氏 (実業家・政治家)

明治38年、三木町田中生まれ。明治大学卒。

昭和25年参議院議員に初当選以来、連続4回当選を果たし、郵政大臣や参議院副議長などを歴任。県内でも、商工会議所連合会会長、観光協会会長などの要職を務めるとともに、四国新聞社社長、ラジオ香川の創設、西日本放送会長など、各分野の発展に大きな功績を残し、本町では三木町福祉センターの建設に尽力されました。

昭和48年に逝去。

## 故 鎌倉芳太郎氏 (人間国宝)

明治31年、三木町氷上生まれ。

東京美術学校研究科で染色を学び、助教授となりました。

太平洋戦争後、琉球染色の紅型(びんがた)を本格的に研究。その後、この古典的技法をふまえた「型絵染」を創作し、次々と発表。昭和48年、国の重要無形文化財技術保持者(人間国宝)に指定されるとともに、玉川大学教授も務めました。

昭和58年に逝去。

## 故 大西禎夫氏 (実業家・政治家)

明治31年、三木町氷上生まれ。慶応義塾大学卒。

昭和24年より衆議院議員連続3回当選を果たし、通産常任委員長を務めました。また、昭和14年より8年間、香川県議会議員を歴任。このほか県内では、昭和20年より21年間、高松琴平電気鉄道会社社長を務めるとともに、県体育協会会長、交通安全協会会長などに就き、各分野の発展に尽力されました。

昭和41年に逝去。

## 故 串田義視氏 (歯科医師)

明治36年、三木町池戸生まれ。

大阪歯科大学を卒業後、三木町で開業。本町の学校歯科医、体育協会会長、保護司会顧問などを歴任し、社会教育や社会福祉の向上に尽力。昭和14年より、旧平井町議会議員・三木町議会議員として町政に励むとともに、三木町民柔剣道場の建設などにも尽くされました。昭和50年、国際的文化人に与えられる全日本学士会アカデミア賞を受賞するなど、数多くの榮譽を受賞。

平成2年に逝去。